

# 発電所だより

8月号

平成25年8月発行 東北電力株式会社 女川原子力発電所総務部広報グループ 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp/>

## 《平成25年度原子力防災訓練を実施しました》

7月17日、福島第一原子力発電所の事故を踏まえた安全対策の有効性を確認することなどを目的に、平成25年度原子力防災訓練を実施しました。

宮城県沖で、マグニチュード9.0の地震が発生。現在の防潮堤を越える高さ18mの津波が襲来し、全ての交流電源が喪失したとの想定のもと、発電所、構内協力企業あわせて約260人が参加し、原子炉を冷温停止に導くための対応を確認しました。

女川原子力発電所では、今後も安全対策を着実に進めるとともに、工夫を重ねながら様々な訓練を継続して実施することにより、発電所の安全性をより一層高めてまいります。

### シミュレーターによる運転訓練



中央制御室を模したシミュレーターにより、全ての交流電源が失われた中でも、原子炉を安全に冷温停止させる操作を的確に実施できるよう運転技能の向上に努めています。

### 送水車による冷却機能確保訓練



昨年9月に導入した送水車（代替非常用冷却海水ポンプ）を用い、海水ポンプの代わりに海水（訓練では淡水）をくみ上げ、冷却系統に送水することで、原子炉の冷却機能を確保します。

### その他各種訓練

- 通報訓練
- モニタリング訓練
- 電源機能等喪失時対応各種訓練 他
- 避難誘導訓練
- 緊急時対策要員動員訓練

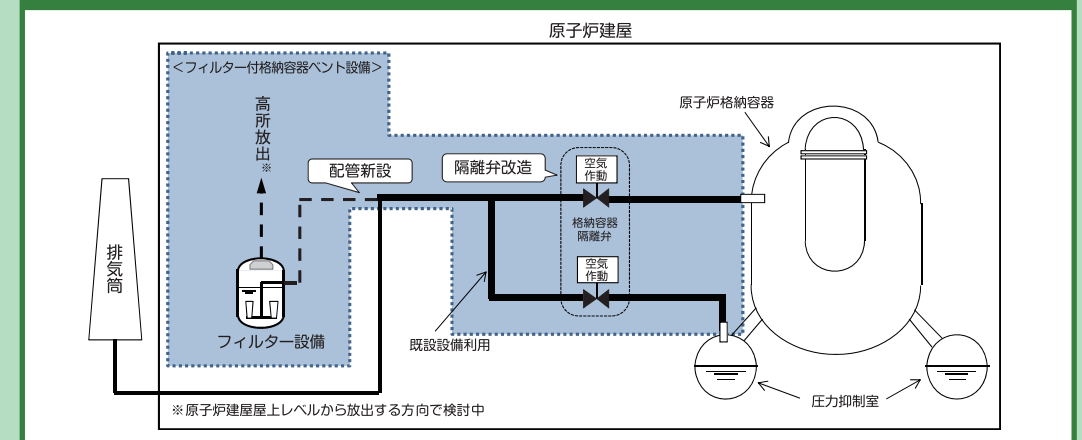
## 《2・3号機で『フィルター付格納容器ベント設備』の設置工事を開始しました》

6月25日より、2号機および3号機において『フィルター付格納容器ベント設備』の設置工事を開始しました。

『フィルター付格納容器ベント設備』は、原子炉格納容器の破損を防止するために、格納容器内の圧力を低減させる際、万一、炉心損傷等が発生した場合においても、フィルターを介して蒸気を大気中に放出することによって、放射性物質の放出量を直接放出時に比べ、1/1000以下に抑制する設備で、2号機、3号機に1基ずつ設置します。

平成27年度中の完成を目指し、本工事を着実に進めていくとともに、今後とも発電所の安全性向上に努めてまいります。

### フィルター付格納容器ベント設備の概要





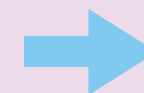
## 《3号機でも耐震裕度向上工事を開始しました》

耐震安全性向上策の一環として、これまでに実施した耐震評価や耐震裕度向上工事の経験\*等を踏まえ、平成24年5月より2号機において配管や電線管へのサポートの追加などの工事を自主的に行ってまいりましたが、このたび6月28日より3号機においても同様の工事を開始しました。

※女川原子力発電所では、平成20年5月から平成22年6月にかけて1～3号機あわせて約6,600カ所の耐震裕度向上工事を実施しています（右写真は当時のもの）



【対策前】



【対策後】

サポート追加

## 女川原子力PRセンターからのお知らせ

### 「東北電力図画コンクール」作品募集中(8/31まで)

#### テーマ 想像の海の生きものたち

「海にいたらいいな」と思う生き物を描こう！



【締切】 8月31日(土)

【対象】 小学生以下の皆さん

【表彰】 最優秀賞／1名、優秀賞／7名、各審査委員特別賞／9名、奨励賞／20名  
※ご応募いただいた全員にオリジナル記念品を贈呈いたします。

【用紙】 A4(210mm×297mm)の画用紙に描いてください。

**注意事項** 一人1作品の応募とし、未発表作品に限ります。  
・絵の具、クレパス、色鉛筆、油彩、貼り絵などで描いてください。  
・貝殻などの立体物を貼り付けたり、コピー、切り抜き、パソコンによる編集等の作品は選考対象外になります。  
・応募された作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。応募作品の返却はいたしません。

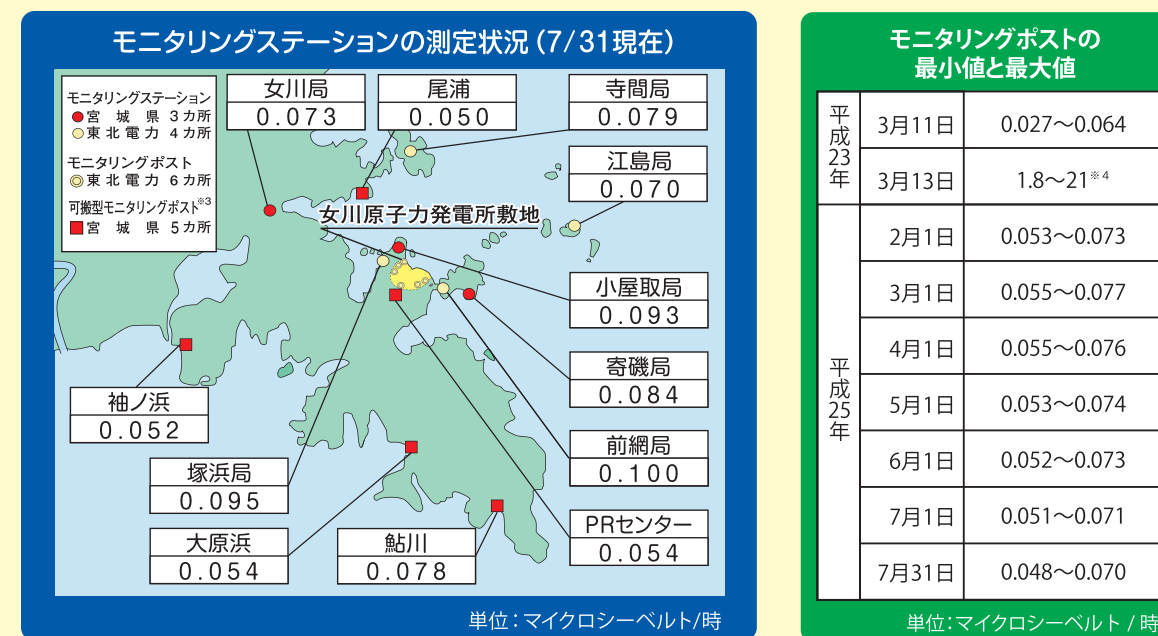
お問い合わせ  
応募先

女川原子力PRセンター内「東北電力図画コンクール」事務局  
〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123  
TEL/0225-53-3410  
開館時間/9:30~16:30(8月19日(月)は休館)

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト\*1やモニタリングステーション\*2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.070マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、至近6カ月の値を掲載しています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。